

派遣報告書

平成 27 年 2 月 17 日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員 鳥飼 幹男



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

- 1 派遣期間 平成 27 年 2 月 11 日 (水) から平成 27 年 2 月 13 日 (金) まで
- 2 派遣先 (1) 静岡県浜松市
(2) 兵庫県豊岡市
- 3 視察 (調査) 議員名 山口博敬・高田周儀・鳥飼幹男・由田 隆・伊藤正三
中野 隆・佐藤博英
- 4 面会者 ・(株)新和エンジニアリング 取締役 今津 亮 氏
・肥育牧場 代表 新村 博通 氏
・綿田牧場 代表 綿田 謙 氏
・丸大鉄工 (株) 代表取締役 大石 誠一 氏
- 5 派遣目的 (1) 放置竹林対策
(2) 竹を微粉末・チップに加工して農業や畜産に再利用する技術
(3) 竹粉碎装置及び竹粉製造機の視察
- 6 視察の経過及び感想
① 倉吉市においても荒れた放置竹林が広く存在し問題となっている。そこで、竹を有効活用し微粉末に加工することで、飼料や肥料として実際に再利用している農業者・畜産業者を視察し意見を伺った。

- ② 農園の視察では、竹粉を完熟堆肥へ混合することで食味や発根作用、土質に効果が現れてきてはいるが、今後は具体的に効果を数値化できるようにしていくことが必要と感じた。
- ③ 畜産関係では、和牛の飼育に竹粉を飼料に混ぜて家畜に食べさせたところ食欲の増進や糞の臭気軽減、病気にかかりにくいなど、家畜にも効果があることがわかったが、竹微粉末の摂取が牛肉の食味に与える影響を明らかにし、ブランド化を図るためにも更なる研究が必要と感じた。
- ④ 放置竹林対策では、竹をチップに加工する粉碎装置を視察した。小型で軽トラで現場に搬入ができ、粉碎能力もあり、竹林整備には大変に有効な装置であり、中部森林組合等にも情報提供してみたい。
- ⑤ 竹を微粉末やチップにすることで竹の再利用を図り、放置竹林対策と中山間地域の活性化に寄与するような取り組みができないものか、議会としても研修を重ねていきたい。

7 添付書類

- (1) 各地の研修資料及び写真 (写)
- (2) 面会者の名刺 (写)

要した経費： 7人合計439,110円